2016 年 6 月

PRESS RELEASE

小田原文化財団プロデュース
『肉声』～ジャン・コクトー『声』より～
公演決定

平素より大変お世話になっております。
2011 年の『杉本文楽 曾根崎心中』に始まり、『神秘域』、昨年の『春の便り～能「巣鴨塚」より～』等、古典芸能をベースに新しいジャンルの舞台芸術を発信してきた小田原文化財団は、2016 年 11 月、初の現代劇を上演いたします。
『肉声』は、20 世紀のフランスで詩人・小説家・劇作家・評論家として活躍したジャン・コクトーの戯曲『声/La Voix』（1930 年にコメディ・フランセーズにて初演）を下敷きにしております。
構成・演出・美術を杉本博司が手掛ける本公演では、設定を日本の昭和初期に置き換え、まったく新しい作品として生まれ変わります。
作・演出は、作家・平野啓一郎。
主演に女優・寺島しのぶを迎え、世界で活躍するバイオリニスト・庄司紗矢香が節付を担当。
異色の顔ぶれで送る実験的パフォーマンス『肉声』にご期待ください。

公益財団法人小田原文化財団
http://www.odawara-af.com/

＜報道関係者様お問合せ先＞
公益財団法人小田原文化財団　広報　email: press@odawara-af.com
＜一般のお客様お問合せ先＞
公益財団法人小田原文化財団　tel: 03-3473-5235（平日 11 時～17 時）email: info@odawara-af.com

公式 facebook:　https://www.facebook.com/odawaraaf/
公式 twitter:　https://twitter.com/odawara_af
杉本博司通信 twitter: https://twitter.com/odawara_staff

公演概要

公演タイトル：『肉声』～ジャン・コクトー 『声』より～

日程：　11 月 25 日（金）、26 日（土）、27 日（日）　※4 公演予定
会場：　草月ホール
東京都港区赤坂 7-2-21　tel: 03-3408-1154
アクセス：地下鉄東京メトロ半蔵門線・銀座線・都営大江戸線「青山一丁目」
4 番出口より徒歩 5 分

主催	：	公益財団法人小田原文化財団
企画制作	：	公益財団法人小田原文化財団
協賛	：	コスチュームナショナル

原案	：	ジャン・コクトー
構成・演出・美術	：	杉本博司
作・演出	：	平野啓一郎
節付・演奏	：	庄司紗矢香
主演	：	寺島しのぶ
演出助手	：	桐山知也

＜チケット情報＞
チケット料金：　全席指定 6,000 円

チケット前売開始：　9 月 10 日（土）予定
※各種プレイガイドにてお取り扱いいたします
※チケット発売に関する情報は、7 月 1 日（金）公開予定

※最新公演情報は小田原文化財団公式 HP、facebook、twitter にて
随時更新いたします。あわせてご参照ください。
公式 facebook:　https://www.facebook.com/odawaraaf/
公式 twitter:　https://twitter.com/odawara_af
公式 HP :　http://www.odawara-af.com/
杉本博司通信 twitter:　https://twitter.com/odawara_staff

『肉声』梗概

平野啓一郎

1940年、日米開戦前年の晩夏。――
女は、ひとしきり、自宅の庭のプールで泳いだあとで、ぼんやりと蓄音機に耳を傾けていた。
ル・コルビュジエ風の本格的なモダニズム建築。世に妾は数多あれど、こんな妾宅はまたとない。
日独伊三国軍事同盟について書かれた新聞記事に目を通し、気怠く溜息を吐くと、彼女は、男に電話をかけることを思い立つ。
普段は決して連絡しない時間。
彼女はただ、街角で見かけた「贅沢は素敵だ！」というらくがきの話をしたかったのだった。
いつものように面白おかしく。――
彼女がただ聴きたかったのは、彼の「肉声」だった。
しかし会話は、その思惑を裏切って、予想だにしなかった方向へと進んでゆく。
世界の破滅を予感し、美への耽溺を生のよすがとする男。爛熟した愛の渦中で、男の見ていたものとは？　その時、女は？……
愛と美の人工楽園のたそがれ。観客はその最後の輝きの生き証人。

キャスト

主演　寺島しのぶ（女優）

yoshihito sasaguchi

1972 年京都市出身。アプティパ所属。青山学院大学文学部卒業後、92 年文学座に入団。96 年退団以降、舞台、テレビ、映画など多方面で活躍。2004 年「赤目四十八瀧心中未遂」、「ヴァイブレータ」で国内外多数の映画賞を受賞。2010 年公開「キャタピラー」では日本人として 35 年ぶりに第 60 回ベルリン国際映画祭銀熊賞を受賞。舞台では、2010 年「血は立ったまま眠っている」（蜷川幸雄演出）、2015 年「禁断の裸体-Toda Nudes Será Castigada-」（三浦大輔演出）、2016 年「アルカディア」（栗山民也演出）他話題作に多数出演。2016 年 7 月には「ゴーゴーボーイズ ゴーゴーヘブン」（松尾スズキ演出）への出演が予定されている。

節付・演奏　庄司紗矢香（バイオリニスト）

Shin Suzuki

1983 年東京都国分寺市出身。1999 年、第 46 回パガニーニ国際ヴァイオリン・コンクールに同コンクール史上最年少、かつ日本人として初めて優勝。2004 年ケルン音楽大学卒業後はパリに居を移し、ヴラディーミル・アシュケナージ、シャルル・デュトワ、チョン・ミョンフン、ヤニック・ネゼ=セガンといった世界を代表する指揮者たちと共演を重ねている。BBC フィルハーモニック、ウィーン交響楽団、NHK 交響楽団などのコンサートに登場する他、室内楽活動にも力を入れている。また、2015 年のメナヘム・プレスラーとの共演をライヴ収録した「《雨の歌》 LIVE モーツァルト・シューベルト・ブラームス」他 CD リリースも多数。使用楽器は、1729 年製ストラディヴァリウス“レカミエ（Recamier）”。アートにも関心が高く、油絵の個展を開く他、近年はアートとコラボレートしたプロジェクトにも取り組んでいる。

作　平野啓一郎（小説家）

©瀧本幹也

1975 年愛知県蒲郡市生。北九州市出身。京都大学法学部卒。1999 年在学中に文芸誌「新潮」に投稿した『日蝕』により第 120 回芥川賞を受賞。以後、数々の作品を発表し、各国で翻訳紹介されている。2004 年には、文化庁の「文化交流使」として一年間、パリに滞在。2008 年からは、三島由紀夫文学賞選考委員、東川写真賞審査員を務める。美術、音楽にも造詣が深く、幅広いジャンルで批評を執筆。2009 年～2016 年の 7 年間、日本経済新聞の「アートレビュー」欄を担当した。2014 年、フランス芸術文化勲章シュヴァリエを受章。著書は小説、『葬送』『滴り落ちる時計たちの波紋』『決壊』（芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞）『ドーン』（ドゥマゴ文学賞受賞）『かたちだけの愛』『空白を満たしなさい』『透明な迷宮』、エッセイ・対談集に『私とは何か 「個人」から「分人」へ』『「生命力」の行方～変わりゆく世界と分人主義』等がある。最新作は、長編小説『マチネの終わりに』。

構成・演出・美術　　杉本博司

1948 年東京生まれ。立教大学卒業後、1970 年に渡米、1974 年よりニューヨーク在住。徹底的にコンセプトを練り上げ、精緻な技術によって表現される銀塩写真作品は世界中の美術館に収蔵されている。近年は執筆、設計へも活動の幅を広げ、2008 年建築設計事務所「新素材研究所」を設立、IZU PHOTO MUSEUM の内装設計他、oak omotesando のエントランススペース、2017 年 2 月リニューアルオープン予定の MOA 美術館（熱海）などを手掛ける。主な著書に『空間感』（マガジンハウス）、『苔のむすまで』『現な像』『アートの起源』（新潮社）。内外の古美術、伝統芸能に対する造詣も深く、人形浄瑠璃文楽公演『杉本文楽 曽根崎心中付り観音廻り』（2011）、三番叟公演『神秘域』（2011）の演出を手掛け、海外でも高い評価を受ける。今年秋には東京都写真美術館にて個展開催予定。1988 年毎日芸術賞、2001 年ハッセルブラッド国際写真賞、2009 年高松宮殿下記念世界文化賞、2010 年秋の紫綬褒章を受章。2013 年フランス芸術文化勲章オフィシエ章受勲。

【公益財団法人小田原文化財団　組織概要】

一般財団法人設立：平成 21 年 12 月 22 日
公益財団法人認定：平成 23 年　4 月　1 日

古典演劇から現代演劇までの伝承・普及を図り、美術品等を保存・公開し、又これらのものの調査・研究を行うことで、伝統芸能を次世代へ継承しつつ、現代美術の振興発展に努め、時代・ジャンルを越えて芸術文化を振興することにより、世界的な視野に立って、我が国の文化の向上に寄与することを目的として活動。2017 年秋には神奈川県小田原市に芸術文化の振興・発展を目指す「江之浦測候所」をオープン予定。

＜活動の内容＞

1. 自然の中に設えた舞台を利用し、古典演劇、現代演劇の企画、制作、公演及びその支援による普及振興
2. 杉本コレクションを核とした美術品等の保存及び展示公開
3. 古代から現代の、美術品、伝統建築及び庭園等の空間芸術に至るまで、時代・ジャンルを越えた芸術文化に関する調査・研究及びその普及振興のための研究会・講演会等の企画開催

＜主な活動実績＞

2011 年 8 月	人形浄瑠璃文楽公演「杉本文楽　木偶坊　入情　曾根崎心中付り観音廻り」 ＠KAAT 神奈川芸術劇場
2011 年 9 月	野村万作×萬斎×杉本博司・三番叟公演「神秘域 OUR MAGIC HOUR」 ＠KAAT 神奈川芸術劇場（ヨコハマトリエンナーレ 2011）
2013 年 3 月	「SANBASO, DIVINE DANCE MANSAI NOMURA+ HIROSHI SUGIMOTO」 ＠NY グッゲンハイム美術館
2013 年 4 月	野村萬斎×杉本博司・三番叟公演「神秘域その弐」 ＠渋谷区文化総合センター大和田さくらホール
2013 年 9-10 月	人形浄瑠璃文楽公演「Sugimoto Bunraku Sonezaki Shinju」（欧州 3 ヶ国）
2014 年 3 月	人形浄瑠璃文楽公演「杉本文楽　曾根崎心中付り観音廻り」 ＠世田谷パブリックシアター（東京）、フェスティバルホール（大阪）
2014 年 8 月	2014 Singapore International Festival of Arts 公演「SAMBASO」 ＠ビクトリアシアター（シンガポール）
2015 年 10 月	「三茶三味～三味線音楽を聴く～」公演 ＠世田谷パブリックシアター（東京）
2015 年 11 月	朗読能　公演「春の便り～能『巣鴨塚』より～」 ＠あうるすぽっと（東京）

※　他　所蔵作品展覧会貸出し実績多数